


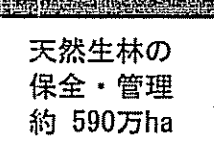
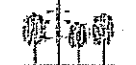

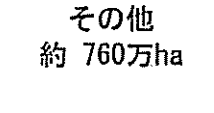


森林吸収源対策の追加的事業費

平成10～14年度の整備水準（実績）

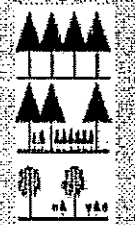



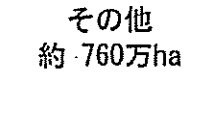
育成林 約1160万ha 	必要な整備等が 未実施 約330万ha   約640万ha 育成林の適切な 整備・保全 
天然生林 約1350万ha 	天然生林の 保全・管理 約590万ha  その他 約760万ha 

← 補正予算等も含め平成10～14年度の水準で推移した場合（3.1%）

← 補正予算等を除いた場合（2.6%程度の見込み）

平成10～14年度の水準で
推移した場合
吸収量算定対象 1420万ha
吸収量 3.1%

3.9%達成に必要な事業量

育成林 約1160万ha 	育成林の適切な 整備・保全 約1160万ha 
天然生林 約1350万ha 	天然生林の 保全・管理 約590万ha  その他 約760万ha 

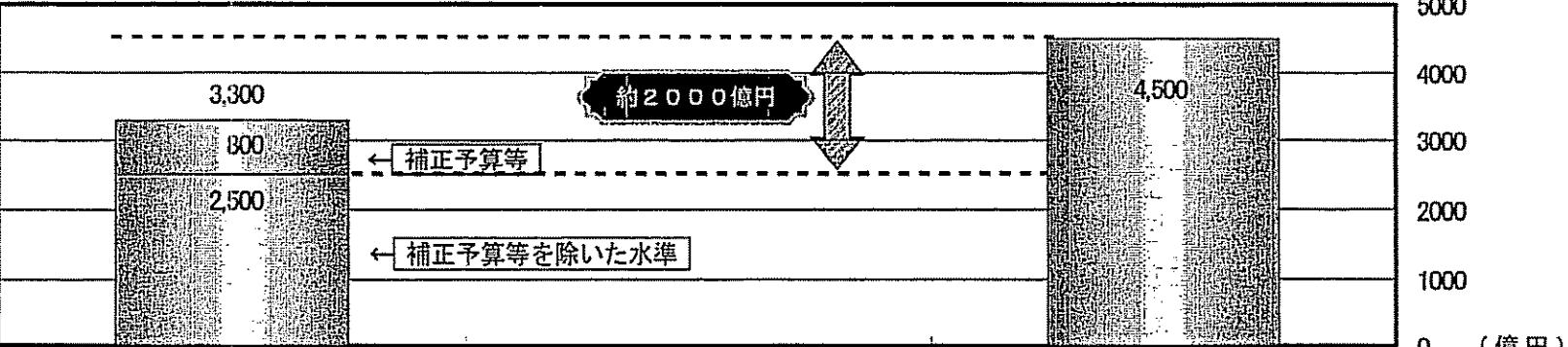
必要事業費
4,500億円 - 2,500億円

平成18～24年の
追加的事業費
年間約2,000億円

うち 国負担分 約1200億円
地方負担分 約500億円

吸収量算定対象 1750万ha
吸収量 3.9%

●追加的な森林吸収源対策に必要な経費（事業費ベース）



H10～14水準

3.9%達成

(2004年11月林政審議会『地球温暖化対策における森林吸収源対策』)